

# 「保護者会・父母会」の役割と大切にしたいこと

編集部

学童保育にはじめて出合い、「保護者会・父母会つてなにをするの？」と疑問を抱く方もいるのではないでしょうか。本稿では「保護者会・父母会」の役割、大切にしたいことを紹介します。

\* \* \*

保護者会・父母会（「父母の会」などと呼ぶ地域もあります。以下、保護者会）は、学童保育に通う子どもも保護者が集ってつくり、学童保育を支える組織です。公立公営や法人運営など、運営主体がどこであっても、保護者が自主的につくることができません。

一人では解決できないことも、みんなで話しあうことで願いや課題が明確になり、解決する道筋が見えてくることもあるでしょう。保護者会は、子どもの様子や生活内容を保護者間で共有し、「子どもにとってよりよい学童保育の生活内容や環境」を指導員と力をあわせてつくりだす基盤ともなります。

そして指導員は、保護者会の場なども活用して、子ども

もの様子と子ども同士の間わりを日常的に保護者に伝え、そのことを通じて保護者同士が協力関係を築けるよう支える役割を担っています。

\* \* \*

全国学童保育連絡協議会（以下、全国連協）は、保護者会の役割を、以下の五点にまとめてたしかめあててきました。

◆**働きながらの子育ての様子や思いを交流し、支えあう**  
……仕事や子育て、家庭のことなどを率直に話しあったり、相談できる仲間がいることは、保護者自身にとって、大きな支えにつながります。交流は、話しあいの場である保護者会はもちろん、行事などに参加・協力するなかでも行うことができます。

◆**学童保育での生活内容を指導員と共に支える**……学童保育での子どもの生活を豊かにするためには、保護者と指導員が子どもの様子を伝えあい、子育てへの思いや願いを話しあえる関係を築くことが大切です。